

## II 自己点検・評価への取り組み

### 1. 東海大学のミッション

東海大学は、建学の精神のもと、「教育」「研究」「社会連携」「国際連携」の四つの柱を据え、新たな社会的価値を創造していくことを使命とし、「現代文明論」科目を中心とする東海大学型リベラルアーツ教育を通じて、国際的な視野で相互に協力し合い、複雑な課題にも果敢に挑戦し、問題解決していくことのできる人材を育成し、国内外を問わず広く地域・社会と連携する大学を目指しています。

そして、東海大学の中期目標（（5年後の大学のあるべき姿））を以下とおりにしています。

- (1) 4つの力を身につけた人材を社会に輩出できる大学
- (2) 教育研究を軸とした大学の総体として、イノベーションの創出ができる大学
- (3) 地（知）の拠点として、社会と連携できる大学
- (4) グローバルユニバーシティとして、国際社会と連携できる大学
- (5) 大学の活動を支援できる、経営基盤が安定した大学

### 2. 東海大学医療技術短期大学の中期目標

東海大学の一員である東海大学医療技術短期大学の中期目標も、大学に準じ、東海大学の学園の建学の精神のもと、「教育」「研究」「社会連携」「国際連携」の四つの柱を据え、新たな社会的価値を創造していくことを使命とし、「現代文明論」を中心とする総合科目教育を通じて、国際的な視野で相互に協力し合い、複雑な課題にも果敢に挑戦し、問題解決していくことのできる人材を育成し、国内外を問わず広く地域・社会と連携する大学を目指します。同時に、本学は看護師という専門職業人を養成するという明確な目標を持っており、人道に根ざした深い教養を持つとともに、医学医療の進歩に適應する高い専門知識と技術をもち、生命尊重の人間観、人生観、社会観とその使命感を有する視野の広い医療者を育成します。

### 3. 本学の中期目標（今後3カ年の目標）

- (1) 6つの教育目標の達成、特に、主体的に学習を継続し、問題意識を持って探求する姿勢に重点を置いた教育を目指す。

本学は1974年開学時に示された創立者松前重義の「温かい看護のできる人間性豊かな看護師を育てる」を教育の方針としており、そのため、教育目的として、人道に根ざした深い教養を持つ社会人並びに医学医療の進歩に適應する高い専門知識と技術を持ち、生命尊重の人間観、人生観、社会観とその使命感を有する視野の広い医療技術者を育成することを目的とします。

教育目標は、

1. 人間愛を深め、生命の尊厳と人間性の尊重を基調とし、調和のとれた社会人としての成長をめざす。
2. 看護に関する理論および技術を学び、看護実践の基礎能力を身につける。
3. 主体的に学習を継続し、問題意識を持って探求する姿勢を身につける。
4. 保健医療福祉における看護の機能と社会的役割を認識する。
5. 保健医療福祉の中で生じる問題を理解し、倫理的・道徳的に対処する能力を身につける。
6. 関連諸科学を統合して人間理解を深め、看護観の確立をめざす。

を掲げています。

上記教育目標は何れも重要ですが、今後3カ年の中期目標として、「3. 主体的に学習を継続し、問題意識を持って探求する姿勢を身につける」を重点項目として力を入れたいと考えます。

**(2) 研究活動を活性化し、社会へ発信する。**

本学の特性としては教育研究を重要視する短大としたいと考えます。目標としては、看護研究をより積極的に行う大学とすることを目標とします。その結果、イノベーションの創出が出来ることが望まれます。現状でも研究を立案しすすめるための仕組みは存在しますが、実際にそれらの利用が少ないので、より積極的に推進したいと思います。

**(3) 地域との連携を継続し、社会との連携を強める。**

現在実施している教職員主催地域との連携や学生ボランティアの活動を一層強化し、また連携の幅を拡大していきます。

**(4) 国際化時代への対応を目指す。**

本学においては、現在デンマーク研修を行っていますが、更に海外研修をより充実させることにより、国際社会と連携できる大学を目指します。

**(5) 管理・支援体制の充実を図る。**

本学にとって現在、最重要課題は、大学の変革に対応できる教職員の人材の確保にあります。教職員確保のため、医療技術短期大学における教職員に対する待遇改善を進めます。さらに、実習病院の確保も重要課題であり、付属病院を含めた実習施設の確保に万全を期します。また、第三者評価の指摘事項の改善を図ります。

**4. 東海大学医療技術短期大学 MS シート：資料 1 参照**